

令和5年度(2023年度)第1回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：令和5年(2023年)4月17日(月) 午後2時29分～午後3時22分

場所：本部棟2階大会議室及びオンライン

出席：学長	堤 裕昭
副学長	鈴木 元
事務局長	倉光 麻里子
文学部長	村尾 治彦
環境共生学部長	石橋 康弘
総合管理学部長	澤田 道夫
共通教育センター長	山田 俊
地域・研究連携センター長	柴田 祐(リモート参加)
デジタルイノベーション推進センター長	飯村 伊智郎(リモート参加)
国際教育交流センター長	レイヴィン リチャード(リモート参加)
学校法人九州ルーテル学院長	内村 公春
株式会社熊本日日新聞社 調査役	松下 純一郎
前熊本県公立高等学校長会長	牛田 卓也
監事：公認会計士・税理士	吉川 榮一
弁護士	本田 悟士

事務局：加藤事務局次長、國武企画調整室長、三隅教務入試課長、山村教務入試課入試班長、藤本教務入試課教務班参事、塩田教務入試課教務班主事

1 開会

2 学長挨拶

3 議事

(1) 審議事項

① 令和6年度(2024年度)入学者選抜の実施方針について

事務局教務入試課から資料1に基づき、以下のとおり説明があった。

- ・学部入試は、昨年度同様、一般選抜、自己推薦型選抜、特別選抜の3つの方法で実施する。一般選抜は、前期日程、後期日程で実施。特別選抜のうち環境共生学部環境資源学専攻の学校推薦型選抜については、昨年度教育研究会議で審議いただいたとおり、農業科・林業科・水産科の枠に工業科を追加している。入学者選抜の日程、実施方法については、ほぼ昨年度と同時期、同様の方法を考えている。
- ・大学院入試については、選抜区分、日程等、昨年度と大きな変更はないが、募集人員については、昨年度教育研究会議で審議いただいたとおり、文学研究科英語英米文学専攻博士後期課程の募集を停止する。
- ・入試広報のうちオープンキャンパスは、昨年度から実地型を再開し、今年度も同様に実施することとしているが、詳細については検討している。

→ 審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

- ① 令和5年度(2023年度)一般選抜における追加合格者決定について
教務入試課から資料2に基づき、以下のとおり報告があった。
 - ・令和5年度(2023年度)入学者について募集定員に対し欠員が生じたため、3月28日午前8時から、教務入試課から電話連絡し、追加合格者決定の手続きを行い、入学定員を確保した。
- ② 令和5年度(2023年度)入学者の状況について
事務局教務入試課から資料3に基づき、以下のとおり報告があった。
 - ・今年度の学部入学者数は、定員480名に対し、入学者は513名。県内出身者は79.9%と例年より高い。なお、一般選抜の志願者数は昨年度と比較して500名程度減っている。
 - ・大学院は、定員51名に対し入学者は27名、全体の定員充足率は50%を上回った。また、昨年度教育研究会議で審議いただいたが、アドミニストレーション研究科については定員を見直した結果、令和2年度並みに回復した。
- ③ 総合管理学部における専攻制の導入について
総合管理学部長から資料4に基づき、以下のとおり報告があった。
 - ・学部創設30周年を機に、多様化複雑化の時代を見据え、現在の1学部1学科を令和6年度(2024年度)から1学部1学科3専攻とする専攻性を導入する。より高度な課題解決を実現できる人材育成を進めていくとともに、志願者数増にもつなげていきたい。
- ④ 第37回(令和5年)管理栄養士国家試験の結果について
環境共生学部長から資料5に基づき、以下のとおり報告があった。
 - ・本学の新卒者合格率は100%。既卒者も合格したので、ともに受験者合格率100%となった。九州内では、本学ともう1大学だけが新卒者100%だった。
- ⑤ 認証評価結果について
事務局企画調整室から資料6に基づき、以下のとおり報告があった。
 - ・大学基準協会から通知があり、協会が定める大学基準に適合していると認められ、認定期間は2030年3月31日までとされた。
 - ・提言の中で、長所として特記すべき事項が3点と、改善課題事項として大学院の定員管理の徹底が挙げられた。なお、改善課題については、令和8年(2026年)7月末までに協会に報告書を提出することとなっている。

4 その他

次回日程

令和5年度(2023年度)第2回 5月15日(月)午後2時30分～ 本部棟大会議室

5 閉会